

**令和 8 年度笛吹市社会教育委員の会議兼公民館運営審議会
委嘱状交付式及び第 1 回会議 会議録**

日 時：令和 8 年 6 月 10 日（水） 午後 2 時～午後 3 時 30 分

場 所：笛吹市役所市民窓口館 302・303 会議室

出席者：◇社会教育委員（敬称略）

渡辺政子、矢野徳仁、廣瀬志保、坂野修一、内田勝也、加々美恭子
金子津多恵、中楯文仁、石倉絹子、中村久美子

◇教育委員会

望月教育長、手塚教育部長、角田文化財課長、松本図書館長

◇事務局

早河生涯学習課長、生涯学習担当 河西課長補佐、日下、鈴木

欠席委員（敬称略）：本岩孝之、渡邊真史、田中親吾、吉岡弘子、原百枝

【進行：生涯学習課長】

次第 1 開会のことば

次第 2 委嘱状交付

次第 3 委員自己紹介・職員紹介

次第 4 教育長あいさつ

＜教育長＞ 皆様、こんにちは。本日は、お忙しい中、御出席をいただきありがとうございます。皆様方には、日頃から笛吹市の社会教育、生涯学習の充実に向け、お力添えいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。今年度から笛吹市社会教育委員及び笛吹市公民館運営審議会委員になられた 3 名の方をはじめ、昨年度から委員の方は、各分野で幅広い知識と経験で、本市の社会教育、生涯学習振興のために、今年度も御経験とお知恵をいただきますようよろしくお願いします。さて、人生は 100 年時代を迎えています。若者から高齢者に至るまで、全ての人が、生涯に渡って学び続け、生きがいをもって、人生を送る社会づくりが必要になります。本市で策定している「第三次笛吹市社会教育計画」の基本理念は、『学びあい 支えあい高めあう地域力』であります。子どもや若者の健全な育成を地域で見守り、家庭や地域の教育力の向上に努めて、

多様化する市民のニーズに応えるとともに、新たな知識を学べる環境づくりを目指してまいります。笛吹市では、令和 8 年度から令和 15 年度までの 8 年間を計画期間とする「第 3 次笛吹市総合計画」が策定されました。人口減少、少子高齢化、原油価格及び物価の高騰、大規模災害への備えなど、様々な課題へ対応するため、『ハートフルタウン笛吹～優しさあふれるまち～』を将来像に掲げ、様々な施策を展開しています。社会教育の分野においても時代の変化や課題を踏まえた上で、社会教育の振興を図ってきましたが、今年度、現行の社会教育計画期間が最終年度になります。「第 4 次笛吹市社会教育計画」策定に向け、社会教育委員の会議兼公民館運営審議会の皆様に諮問をお願いするところです。社会情勢の変化を念頭に置き、「第 3 次笛吹市総合計画」基本目標である、「幸せ実感 ころ豊かに暮らせるまち」施策のうち、『「笛吹こどもまんなか」みんなで育むまちづくり』、『自分らしく学び活躍できるまちづくり』の 2 つの施策を念頭に、これまでの社会教育計画を振りかえり、各世代に合わせた生涯学習の推進や地域の文化芸術の発展につながる計画になるよう策定をしていきます。皆様方には、それぞれの立場から社会教育の円滑な推進のために、市民の代表としての御提言や御支援を賜り、より良い計画づくりにつなげますようお願い申し上げ、改めて挨拶とします。委員の皆様には、一年間よろしく願いいたします。

教育長あいさつ後、望月教育長から石倉議長へ第 4 次笛吹市社会教育計画の策定について諮問を行った。

次第 5 会議録署名委員の指名について

笛吹市社会教育委員会会議運営規則第 4 条第 2 項に基づき、石倉議長から中村久美子氏が会議録署名委員に指名された。

次第 6 議事

笛吹市社会教育委員会会議運営規則第 4 条第 2 項及び笛吹市公民館運営審議会規則第 4 条の規定により石倉議長が議事進行を行う。

社会教育委員の会議

(1) 市社会教育事業報告について

生涯学習課、文化財課、図書館から説明後、質疑応答を行い、報告内容について了解いただいた。

【質問意見等】

＜委 員＞

俳句会について、個人応募の方法を学校で取りまとめによる負担軽減のために配慮してもらい有難いことです。子ども達に笛吹市は「俳句の里」であることを認識してもらいながら、俳句を作るなかで、デジタル機器を活用する観点からタブレット端末でも応募できることを学校が子ども達に教えても良いと思います。

先日、山廬施設の見学をしまして施設などの説明を聞き、境川小学校や笛吹高校の総合学習に関わっていること聞きました。貴重な文化施設であるので、有効活用して子ども達に俳句の里であることを知るきっかけになる場所にしてもらいたいと思います。

＜委 員＞

3点あります。1点目は、俳句会について、昨年度に会議で作品コンクールの応募に関して個人応募でも対応できるように導入を進める動きがありますが、笛吹市の俳句会は市内の学校は学校全体で取り組むべきものであることを述べました。これまでどおりに市内の学校は学校応募で取り組んで、個人応募でもタブレット端末等で応募できることを知りつつ、俳句会に携わっていくことが大事であることを感じました。2点目は、二十歳の誓いについて、市に住民票が無い場合でも参加申込みが出来ることを話に聞いたが、昨年度の実績でもよいので市外から申込件数がどれぐらいあるのか教えてもらいたいです。3点目は、のるーとを利用する関係でスマートフォンのアプリから市の情報通知が届くようになりました。通知に八田家書院花菖蒲の綺麗な画像が送られてきて家族と話題になりました。例えば、わが町の八月十五日展のような文化イベントも市の防災に関する情報のように、市民の方に周知してもらいたいと思いました。周知する内容も精査する必要がありますが、アプリを活用した周知方法も検討してもらいたいと思います。

＜生涯学習担当＞直近過去 2 年間の申込件数について、令和 6 年度は総参加者数 488 人に対して、市外申込は 59 人です。割合は 12%になります。令和 7 年度は総参加者数 491 人に対して、市外申込は 67 人です。割合は 13%になります。割合水準は毎年 10%から 15%の間になります。

＜委 員＞ 俳句会の個人応募について、積極的に取り組んでいることに賛成です。市内の学校では各学校で取りまとめもらう方法でも良いと思いますが、県外の子も達の参加を積極的に受入れるには、募集要項の後援にある石和温泉旅館組合の旅館施設にチラシを置くだけでなく、フロント窓口で募集案内を行うことやフリースクール、県立文学館、県立美術館に募集要項を送付することで、夏休み期間中に山梨県を訪れた小中学生が要項を見て募集が増えると思います。可能な範囲で取り組んでもらいたいです。

わが町の八月十五日展について、ラジオで各市町村の取組みの紹介をしていますが、笛吹市で取り組んでいることを公共機関の電波を利用して、県内や全国に向けてアピールすることも良いと思いますので、取り組んでもらいたいです。

＜委 員＞ 教職員も俳句会は学校で取り組むことに一丸となっています。県教委から学校現場の働き方改革として、文書半減プロジェクトや作品の取りまとめ等負担軽減に繋がることは縮減され、実感として年々強化されているところです。夏休みの作品募集について学校では取りまとめは行わないことの連絡がありますが、俳句の巨匠である飯田蛇笏・龍太の出身地や市の文化でもある俳句は、市の事業として学校で取りまとめを取組んだり、出前授業もして子ども達の俳句を考える知識がついて大変うれしく思います。積み重ねて大切な心が育まれ、言葉に触れて一生にわたって豊かな心、生きて働く力に繋がっていくと思います。

(2)山梨県社会教育委員連絡協議会の報告について

事務局からの説明後、報告内容について了解いただいた。

【質問意見等】

- ＜議 長＞ 事務局から第 57 回関東甲信越静社会教育研究大会群馬大会について案内がありましたが、上野原市の社会教育について事例発表が行われます。是非、興味がある方がいましたら積極的に参加していただきたいと思います。

公民館運営審議会

(1) 山梨県公民館連絡協議会の報告について

事務局からの説明後、質疑応答を行い、報告内容について了解いただいた。

- ＜副議長＞ 今年度の県公民館連絡協議会定期総会について、昨年開催された全国公民館研究集会東京大会で上映された映画の作品が総会後に特別上映されます。地域の未来を担う若者たちが、人の出会いや地域とのつながりの中で成長していく姿を描いた感動作になります。是非、皆様に参加していただきと思います。

次第 7 その他

生涯学習課から事務連絡及び公民館の位置づけについて説明を行った。

- ＜委 員＞ 今年の春に甲府市小瀬の天津司の舞を見に行ったときに、昨年に拝見した時と比べて使っていた人形が新調されていて、行事の関係者方々の年齢層が若い世代が中心であったことに、伝統が守られていることに關心しながら見ていました。毎年 4 月 15 日に行われている「おみゆきさん」について、今年も拝見しましたが、平日にも関わらず一宮町の方々が熱心に参加している印象でした。伝統行事に参加することは時間や労力で大変な部分はあると思いますが、社会全体が積極的に参画できることを願っています。

- ＜生涯学習課長＞ 私も「おみゆきさん」の神輿を担いだことがあります。一宮町に 27 行政区ありますが、全ての地区に氏子がいるわけではなく、今年は 4 地区の大きな地域に氏子が入りまして、小さな

地域だと担ぎ手しかいない状況で、非常に苦労したそうです。

＜議 長＞ 先日、博物館運営協議会に出席した際に教えていただいた「ふるさと民族芸能展」を今年は春日居郷土館において開催されることを聞きまして、おみゆきさんの話がありましたので、是非加えていただき、伝統芸能や郷土芸能を紹介披露したイベントでありますので期待しています。よろしくお願いします。

＜文化財課長＞ 貴重な意見ありがとうございます。参考にさせていただきます。

次第 8 閉会のことば